

# 事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和5年 3月 31日

事業所名 グランアール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	活動に応じて部屋を分けて使用している	今ある部屋を最大限有効利用していきます。
	②	職員の配置数は適切である	6	0	活動内容によって規定の人数以上の人員を増やしている	普段の時から1名増やせるようにします。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	部屋の使用目的が明確にされている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	使用後の清掃、消毒を常に行っている。	子どもたちの安全性を考えジェスパを使用。古くなった物の交換を行っていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	改善できる事は即行い、時間がかかる内容についても職員で工夫し改善している。	職員と連携し改善を行いたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	3月にホームページに掲載する。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		今後検討する。
適切	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	バラバラで行うのではなく、皆で集まれる月1回の研修を行いたい。	皆で研修が行える様に、県境を整備し、時には職員が講師として行えるよう企画する。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	見直しを行い、成長と共に計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	心理の先生入れてほしい	役員の方々と相談し検討します。

な 支 援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	支援の内容を計画に合わせて進めている	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわし者が参画している	6	0		
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0			
㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6	常勤看護師はまだ配置されていない	看護師を配置については、今後も検討してきます。	
㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6	常勤看護師はまだ配置されていない	看護師を配置については、今後も検討してきます。	
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0			

関 や 保	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援業所、発達障害者支援センター等の専門機と連携し、助言や研修を受けている	6	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6		コロナ収束後は企画し行いたい。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6		今後は地域との連携を行っていききたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	連絡帳代わりにLINEにて今日1日の出来た事苦手だった事を情報として伝えている。	色々工夫されていて、支援している職員の方々には感謝しております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	0		引き続き、個別面談・電話・メール等に対応してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	学校などで、保護者会やPTAが考えられてる今、これから必要か保護者様に確認した方が良い。	保護者会は確認してまいります。保護者同士の交流については行事を行うなど工夫してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		SNS等を利用して今後も発信していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	職員にも徹底している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		コロナが緩和傾向の為、今後計画を行う。	

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0		保護者様の周知が全体に行き届くよう努めます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	今年度は通常より多く行った。	今後も伝言ダイヤルや防災訓練を想定し行います。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	契約前に行っております。	時には、かかりつけの病院との連携も行います。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	アレルギーのお子様にはお弁当やおやつを持参して頂いています。	疑いがある際には、アレルギーの検査を保護者様に伝えます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	研修を行い、皆が周知出来るよう行っている。	これからの重要課題の為、頻度を上げて行います。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。







